

日本医史学雑誌 第67巻 第1号

目 次

原 著

明治種痘の研究

——補完する種痘積善社と対立する種痘勸善社——…………… 松村 紀明 3

近代精神医療の導入の再検討

——東京府癲狂院建設計画における「操業」の分析を中心に—— …… 幸 信歩 16

明治期皇子女と漢方医

——なぜ漢方医が皇子女の主治医となり最終的に罷免に至ったか？——

…………… 川島 希 32

研究ノート

合田強の『西洋醫述 卷四』に書かれた図の原典から明らかになった事：

(1) 本草図篇…………… 板野 俊文 48

資 料

『医学館要秘録』下…………… 町 泉寿郎 65

関 寛斎 関連文書 (2)…………… 須永 忠, 齋藤美栄子 87

文政3年配剤記…………… 木下 浩 96

記 事

例会記録…………… 108

例会抄録

翻訳者フナインと『医学問答集』：イスラーム医学の形成…………… 矢口 直英 108

「医は不仁の術」再考

——戦時と平和時、個別的倫理と集合的倫理——…………… 津谷喜一郎 109

江戸時代の経穴学にみる考証と折衷——小坂元祐と山崎宗運を事例に

…………… 加畑 聡子 111

スペインかぜ流行とわが国の衛生行政

——内務省衛生局『流行性感冒予防心得』と大日本私立衛生会

『予防注意書』の比較を中心に——…………… 逢見 憲一 113

書 評

磯田道史 著『感染症の日本史』…………… 渡部 幹夫 114

橋本 明 著『「治療の場所」の歴史

——ベルギーの街ゲールと精神医療——』…………… 大谷 誠 115

坂井建雄 著『医学全史——西洋から東洋・日本まで』…………… 中村 安秀 117

竹原万雄 著『近代日本の感染症対策と地域社会』…………… 逢見 憲一 119

書籍紹介

- 吉元昭治 著『養生外史 不老長寿の思想とその周辺 中国篇』
『養生外史 不老長寿の思想とその周辺 日本篇』
『老荘とその周辺 古代中国医学の源流および道家・道教との関わり』
『不老長寿への旅 ニッポン神仙伝』…………… 渡部 幹夫 121
小石家文書研究会 編『究理堂所蔵 京都小石家来簡集』…………… 町 泉寿郎 121
友部和弘 著『刺絡の道——三輪東朔から工藤訓正——』…………… 町 泉寿郎 123
小山聡子 編『前近代日本の病気治療と呪術』…………… 町 泉寿郎 124
小川徳雄・永坂鉄夫 著『英語医学用語——その語源をたどる——』
…………… 澤井 直 125
歴史学研究会 編, 中澤達哉・三枝暁子 監修『コロナの時代の歴史学』
…………… 町 泉寿郎 126
- 第121回日本医史学会のオンライン開催を終えて…………… 志村 俊郎 128
第121回日本医史学会総会に参加して…………… 松木 宣嘉 131
- 投稿規定 …………… 132
編集後記 …………… 134

《本号の表紙絵》

十返舎一九『疱瘡請負輕口ばなし（ほうそううけおいかるくちばなし）』より

（東京大学総合図書館所蔵）

同書は、十返舎一九（1765（明和2）年～1831（天保2）年）により1803（享和3）年に書かれた紅摺（あかず）疱瘡絵本である。江戸時代に蔓延していた天然痘（疱瘡・痘瘡）は、免疫のない幼児が特に多くかかる病気であり、疱瘡除けになるとされた赤で着色された子ども向けの玩具などが多く作られ、罹患時には周囲を全て赤色にした。香月牛山『小児必用養育草』（1703（元禄16）年）には「屏風、衣桁に赤き衣類をかけ、そのちごにも赤き衣類を着せしめ、看病人もみな赤き衣類を着るべし。痘の色は赤きを好しとする故なるべし」と書かれている。疱瘡絵も赤色のみの木版印刷であり、病魔を避けようという願いを込めた文言が添えられ、源為朝・鍾馗・桃太郎・金太郎・達摩・みみずくなどが描かれたものが多かった。

（松村 紀明）